

香港科技大学での長期滞在

物理工学専攻 D1 若月良平

2015年の10月3日から12月27日までの約3ヶ月間、香港科技大学のLaw研究室に滞在し研究を行った。Law研究室は物性理論の研究室であり、最近では特に遷移金属ダイカルコゲナイドに関する研究で多くの成果を上げている。私がここで与えられた研究テーマは遷移金属ダイカルコゲナイドと普通の超伝導体を組み合わせた接合系に対する磁場応答に関してであった。研究室内の人々の研究テーマは互いに近く、大人数で議論することは非常に良い経験となった。現在では論文の執筆を殆ど終えており、帰国後もLaw先生と連絡を取り合い、近々論文を投稿する予定である。

また、滞在中には12月11日から19日まで、香港科技大学にある高等研究所 (Institute for Advanced Study) で開かれた国際会議、“Topological Phases in Condensed Matter and Cold Atomic Systems”に参加し、様々な議論を行うことができた。

最後に、快く私の訪問を受け入れてくださったLaw先生と研究室の方々、海外派遣を支援してくださった指導教官の永長先生、及びALPS事務局の方々に深く感謝申し上げます。



図 香港科技大学正面玄関の写真